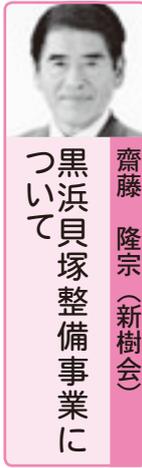


一般質問



齋藤 隆宗 (新樹会)

黒浜貝塚整備事業について

問 現在の工事進捗状況について。

答 文化庁の補助金支給が申請額の満額に至らずの現状であり、若干工事は遅れ気味です。

問 予算のやりくりは。

答 市の予算としては年度計画に基づいた予算配当がありますが、国の事業費への配当は要求額の3割程度が現状で、これを補正する予算を国に願っています。

問 「掻い掘り」の計画はあるのか。

答 昨今、各地で行われており、注目されていますが、工事完了後、1年未満しか経過していません。今後検討していきたい。

今定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ議長に対して質問事項を通告し、執行部は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

問 市民の目に止まる貝塚の縄文モニュメントの作成は市のPRになると思うがいかがか。

答 景観的な面の課題がありますが、検討の必要性はあると思いますので、社会教育課を中心に内部で研究していきたい。

問 縄文関連のグッズ販売は計画しているのか。

答 先例である県や他市町の博物館や類似施設のグッズ等を調査研究中です。

問 市役所の敷地内、シルバー人材センター建設予定地の埋蔵物発掘調査をしているが、思わぬお宝が出る可能性はないのか。

答 ここは昨年度に試掘調査をして、縄文時代及び平安時代などの遺構の存在を確認済みです。今年度はその本発掘調査をし、十月末に終了予定です。

問 東城沼遊水地の灌木の繁茂について
大水の際、椿山団地の臨時のため池である。カヤなどの雑草の刈り取り

答 りはしているが、灌木が根を大きく張り始めている。これが大きくなると遊水池としての機能を損なうことになる。低木のうちならば経費をかけずに伐採除去が可能ではないか。



東城沼 (城地内)



船橋由貴子 (日本共産党)
市民の交通権を保障する地域交通の拡充を

問 日本共産党が行っている蓮田市民アンケートには「一番お願いしたいのは循環バス」「高齢者が通院する際に困っている」など、交通に関する切実な声が多く寄せられている。
2013年3月の「蓮田市公共交通体

系調査検討業務報告書」には課題への対応方針として、①公共交通ネットワークの維持②公共交通と主要施設の連携③多様な輸送サービスを組み合わせた公共交通空白地域の解消、とある。①は継続されているが、②の具体的な取り組みは。

答 ハストピアのイベントに合わせ蓮田駅からのシャトルバス運行(9月13日)を始めた。蓮田松韻高校までのバス路線延伸も協議中。

問 ③の空白地域に、バス事業者の力を借りて、コミュニティバスを走らせられないか。

答 路線バスが維持できなくなれば、コミュニティバス・デマンドバスも検討が必要だが、路線バスが現時点では競合してしまい、時期尚早。

問 現在困っている人にどう対応するのか。

答 最終的にはタクシー。福祉部門と議論したい。

問 福祉部門との連携は以前から指摘されていた。どのような検討がされたのか。

答 具体的な検討はできていない。

問 市長に問う。公共交通空白地域や高齢者の交通権をどう保障するのか。

答 大事なのはバス会社と行政が話し合える場。バス会社に撤退されたら最悪の状況。高齢者・弱者の方への送迎はこれからもっと課題になる。その視点はずれずに取り組みたい。

※ほかに、こども医療費無料化18歳まで拡大を求めて質問。



湯谷百合子（無会派）
自治員の選挙活動
について

問 蓮田市は、自治会長を自治員に任命している。公職選挙法第136条の2の解釈は。

答 公務員等がその地位を利用して行う選挙運動を規制したものである。自治員は非常勤特別職の公務員なので、自治員としての地位利用による選挙運動は禁止されている。

問 自治員が選挙運動を行う際に、自治会長として活動しているから法に触れないと思っても、受け取る側の認識によって違反に問われる可能性があるという解釈でよいか。

答 受け取る側の認識によって、違反に問われる可能性はあるということ、ご注意ください。

問 非常勤特別職である自治員の選挙運動の禁止を今後どのように徹底させていくのか。

答 当面は難しいが、徹底させていきたい。

健康で長寿のまはてイベント

問 埼玉県コバトン健康マイレージ事業は、歩数計を使ってウォーキングをし、歩数を送信することで歩数に応じたポイントを獲得し、ポイントに応じて抽選で商品が当たるしくみ。40の市町村が参加している。蓮田市の参加はいつになるのか。

答 目下県と相談中であり、システムの課題や実施自治体の状況を調査研究し、判断したい。

問 さいたま市では、シルバーボランティア事業、桶川市では健康長寿いきいきポイント事業が始まっている。イベントに参加したり、検診や予防注射を受けることでポイントを獲得し、ポイントに応じた商品がもらえる仕組みである。特定健診受診率向上のためにも、是非検討しては如何か。

答 近隣市での先進事例を調査研究し、検討したい。



中里 幸一（新成会）
都市基盤整備について

問 平成30年度より第5次総合振興計画が10年間の計画期間でスタートするにあたり、その中で土地利用の基本方針を定めた「土地利用構想」に基づく都市基盤整備のうち、蓮田駅周辺の中心市街地の都市計画道路の進捗状況と未整備区間の優先順位について伺う。

答 駅西口では、市施行の都市計画道路路として蓮田駅西口通線と前口山内線があり、西口通線は860mが整備済で、未整備区間の事業認可に向けて調査を実施している。前口山内線については、西口通線の整備が完了した時点で、線形の変更の可能性も含めて未整備区間の事業着手に向けた検討調査をする予定。駅東口については、県施行の蓮田駅東口黒浜線が藤ノ木坂交差点まで整備が完

了している。駅東口馬込線（のくぼ通り）については整備が完了している。

県道蓮田鴻巣線の歩道整備について

問 第一岩槻踏切から蓮田駅東口黒浜線までの歩道整備事業について、事業の概要と今後のスケジュール、接続する市道の整備計画を問う。

答 県道の歩道整備は延長195m・総幅員12mで両側に2.5mの歩道を整備するものです。今後の整備予定は「歩道整備事業の事務委託に関する基本協定書」を締結したことにより、本事業を県から市が受託したので用地取得に関する事務を行い、順次地権者との交渉や契約等を進めます。

接続する市道の整備は県道の歩道整備に合わせて整備が可能な箇所から進めます。また踏切の改良についてもポトルネットク解消に向け県とJRが協議を進めています。

※ほかに、蓮田駅東口周辺地区の地区計画について質問。



木佐木照男（新栄会）
空き家、空き地対策について

問 空き家、空き地の実態把握について伺う。

答 一次調査として空き家の総数は282件あり、さらに二次調査では問題があると思われる空き家128件が抽出され、次に三次調査として、管理状態にある空き家47件、実際に問題がある

空き家66件、早期の対応を要する空き家は10件あり、その内の1件は解消しております。

問 空き家の社会問題について伺う。

答 「害虫が発生」、「ゴミ等が捨てられている」、「庭木や雑草が繁茂している」、などです。

問 空き家、空き地のデータベース化について伺う。

答 今後は空き家調査結果等の更新や対応状況の入力、データの取り込み等を行い、地図情報等を有効に活用しながらデータ管理をまいります。

子ども貧困対策について

問 蓮田市の子ども貧困問題の現状について伺う。

答 貧困の実態を把握する数値として、就学援助の対象者の状況が考えられます。平成30年9月3日現在、小学生370人、中学校239人、合計609人で年々増えている状況です。

問 子どもの貧困が進んでいる原因について伺う。

答 一歳以下の子どもの数、世帯主の年齢が低い、子どもの数が多い、世帯に大人が一人の場合など、貧困リスクが高い子どももほど高校就学率が低く、就業率が高い傾向にあるとの分析をしております。

問 子どもの貧困問題への対策について伺う。

答 就学援助制度、入学準備金の貸付け、ひとり親家庭等に対する支援と

して児童扶養手当の支給、ひとり親家庭等の医療費助成制度を継続してまいります。

小児医療センター蓮田公舎敷地の扱いについて

問 蓮田公舎敷地の概要について伺う。

答 3つの街区に分かれておりまして、それぞれ面積が5764㎡、2788㎡、2048㎡の合計10600㎡で、職員公舎だった建物が7棟、保育所だった建物が1棟です。

問 埼玉県との協議経過について伺う。

答 公共事業を実施するのであれば、減額支払いや、減額貸付につきまして可能性はあります。



旧埼玉県立小児医療センター公舎（蓮田4丁目地内）



栗原 勇（日本共産党）
学校トイレ改修の強い
願いに早い対応を

問 普通教室にエアコンが設置されて喜ばれている。エアコンと同等にトイレ改修の願ひも強くある。子どもたちが、学校で排便を我慢することなく、健康な状態で学習やスポーツに取り組めるよう教育環境を整えるのは行政の責任である。まず第一に、臭い・ドアの開閉水まわり等の課題に対してどのように対応しているのか。

答 報告があれば、適宜対応していく。

問 今年行われた蓮田北小のトイレ改修はどのようなものか。

答 便器は和式から暖房付洋式に。床はタイル張りの湿式から、乾いた床の乾式に。男子小便器は、センサーで水が流れるようにした。

問 これからのトイレはこうあるべきと思わせるトイレ改修である。他の学校でも年次計画を立ててトイレ改修を進めていくべきである。小学生は6年、中学生は3年で終了。公平性・平等性の観点から早く進めるべきと考える。市長の答弁を求める。

答 トイレの老朽化問題は喫緊の課題。日々利用している子どもたちの視点に立ち、予算確保等、教育委員会にて改修を継続して実施している。質問の趣旨は理解している。教育施設整備の位置づけを教育委員会と財政局と我々、良く練って、なるべく早い時期に整備できる

ようにしていきたい。
※ほかに、中学校の部活動に関し、生徒の健康、教職員の負担軽減のため、休養日の設定、練習時間、実態調査について質問。



田中 秀行（蓮田志士の会）
人口増加策は地域資源
を掘り起こせ

問 市民意識調査で「住み続けたいと思う主な理由」の設問に対する回答のうち、「市に将来性・発展性があるから」と回答したのは0.3%であったが、どのように分析しているのか。

答 大きな課題であると認識しています。

問 蓮田探検ガイドツアーの実績は1組とのことだが、もったいない。他のイベントと抱き合わせたり、モデルコースを示したり、改善の必要があると思うが。

答 てこ入れが必要だと思います。

問 「にゃんたぶう」の楽曲利用を更に拡大し、シビックプライドを高める施策に寄与すべきと思うが。

答 姉妹都市の長野県松川町役場では電話の保留音に、にゃんたぶうの「みんなでLet's Go!」大好き松川町」を採用しています。他自治体の事例を研究し検討してまいります。

問 平成28年12月議会でも同様の質問を行ったが、駅前のクリスマスイルミネーションについて、蓮田市として主体的にどうしたいのかを問う。

答 実施したいと申し上げたいところですが、関係団体と協議してまいります。市長に伺う。西口再開発の起工式等をシティセールスに利用し、市外にも売り込むべきと思うが。

問 西口再開発事業は3度目の蓮田市

答 の誕生だと思えます。スタート時点では考えておりませんが、みんなが喜びあいながらオープンを祝うことが大切だと思います。そのことが硬軟織り交ぜた行政運営だと思いますので、十分、検討してまいります。

※ほかに、関戸地区の市道440号線の整備推進について質問。



はすだガイドツアー募集チラシ



島津 信温（公明党）
特定健診・がん検診の
受診率と向上について

問 法に基づき実施している、特定健診の受診率は県内の自治体の平均受診率と比較してどのくらいか。

答 平成28年度の県内の受診率は、38.9%です。蓮田市の受診率は、41.5%です。蓮田市の平均受診率より、高い状況です。

問 各がん検診の期日を統一したほうが解りやすいのではないかと。

答 各がん検診の実施をお願いしている医療機関との話し合いで、インフルエンザの流行する時期と重ならないようにしているなどの理由によるものです。

通学路の安全対策について

問 通学路の安全対策については、6月議会質問以降の進捗状況について答弁を求める。

答 各学校からの報告をまとめ、確認しております。個人所有のブロック塀が90カ所あり、直接お話ししたり、一軒づつ家を訪問して、自己点検をお願いしているところで。



鈴木貴美子（公明党）
フレイル予防について

問 フレイルとは、「虚弱」を意味し、健康な状態からフレイルを経て要介護状態に至る。適切な対応を取れば、さまざまな機能を回復できることから、フレイル予防を導入し、介護予防をさらに推進するのはいかがか。

答 フレイル予防の重要性は認識しております。普及啓発の事業展開を検討していきます。

防災対策について

問 自然災害が多発する中、地域の防災意識や防災力の向上が求められて

いる。自らの行動計画を時系列で定めておく「マイ・タイムライン」を作成していくのはいかがか。

答 他市町の状況を調査研究していきます。

自転車事故防止対策について

問 近年、自転車と歩行者の接触事故が後を絶たず、高額賠償請求事例が相次いでいる。自転車保険への加入義務について、多くの市民へ周知し、備えていただくべきではないか。

答 今後ともさらなる自転車保険加入促進のため、あらゆる機会を捉えて周知啓発に努めていきます。



勝浦 敦（蓮田志士の会）
障がい者に係る入所施設について

問 今年3月、本市では「障がい者基

本計画」「障がい福祉計画」「障がい児福祉計画」を一体的に運用し、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりが輝くことができる地域共生社会を目指した「かがやき はすだプラン」が策定された。その基本目標として「住み慣れた地域で安心して暮らすことができる基盤整備として、一人ひとりの障がい者に適切な居住の場の確保や、地域生活を支えるグループホーム、真に必要な入所施設等の拡充に努めるとともに、生活を支える多様な機能の整備を図ります。」とあるが、これまでの市の取り組みについて伺う。

答 平成28年3月議会における「入所更

生施設の建設促進に関する請願」の採択後、毎年県障害者支援課を訪問し、情報収集を行いました。昨年9月、岩槻区との境にある旧小児医療センター蓮田公舎敷地について、県病院局より利用希望にかかる照会があったことを受け、現在、選肢の一つとして入所施設等の整備の可能性を検討し、土地所有者である埼玉県と調整を行っております。

問 市長に伺う。今後の考えは。

答 多くの方から切実な声が届いております。引き続き、積極的に取り組んで何とか実現できれば思っております。一方、運営主体や財源の問題等、解決しなければならぬ課題も多いので、一生懸命努力したいと思います。※ほかに、RPA（ロボットによる業務自動化）の導入について質問。



岸尾 悦子（日本共産党）
「憲法を暮らしにいかす」予算編成を

問 憲法は「国民主権」「基本的人権の尊重」「戦争放棄」を3大原則として

いる。第8章では、地方自治を章立てとして、憲法において地方自治を保障している。また、地方自治の本旨に基づく法律の地方自治法では「住民の福祉増進を図ること」が地方自治体の責務として明記されている。では「憲法を暮らしにいかす」視点の来年度予算編成についてはどのように反映されるのか。

答 日本国憲法の理念は、目指すべき街づくりの根幹にあり、これらの理念が住民の日々の暮らしの隅々にいきわたり、安心して安全な生活を送ることができるよう、第5次総合振興計画に基づき予算編成を行う。

問 市長に答弁を求める。自治体は、市民の暮らしを守る防波堤としての役割がある。公約で「めざす9つの宣言」とあった。では、来年度の重点施策について、基本的にとのよう考えるか。

答 第5次計画ベースに着々と進める。子育て・教育・基盤整備が、高齢化対策に繋がっていく。充実することが、階層ごとの福祉の向上に繋がる。

問 市長の選挙公約で子育ては最初に掲げられていた。待機児童対策は緊急性があり、早急に取り組まなければならない。全国的にも大きな問題であり、今蓮田市がさらに力を入れて取り組むなら政策的にアピールし、子育て世代を呼び込むこともできる。待機児童解消の取り組み、保育園新設の考えはいかがか。

答 ニーズ調査と同時並行で、新たな保育園の検討も含めて推進していく。



高橋健一郎（公明党）
道路の危機管理について

問 蓮田市の路面下空洞化の現状と道路陥没対策は、どのように行っているのか伺う。

答 路面下空洞調査を民間業者の申し出により無料で行い、調査結果とし

て路面下の発見空洞数が市道2箇所、県道1箇所を確認したところです。現状では車両通行等に支障はありませんが、定期的なパトロールをより強化し、直接目視で確認しております。30年4月から8月迄の5ヶ月間で13件の陥没箇所を発見して即時に補修対応を実施しました。

ふるさと納税制度について

問 蓮田市のふるさと納税の返礼品の種類数と、過去3年間の納税件数及び金額の推移と今後の課題を伺う。

答 主な返礼品は梨、日本酒、鰻の蒲焼等で1万円以上の寄付の返礼品22品、2万円以上の寄付の返礼品5品、3万円以上の寄付の返礼品4品です。27年度747件、実益428万1千円、28年度763件、実益428万円、29年度667件、実益360万9千円です。蓮田市民が他の自治体へ納めた、ふるさと納税の寄付額は約1億2489万円で、これによる市民税の控除額は約5656万円と算出されており、蓮田市への寄付額を大きく上回っている状態です。この状況を改善するために返礼品の充実や市外イベントでアピールを行ってまいります。

でいます。サブアリーナ建設に向け関係法令に合わせながら、どのように建設するのが良いか、新たに計画を立て協議を進めていきます。

問 公共施設等整備基金を活用して予算措置出来ないか。

答 現在の基金は、13億円程あるが「公営」に要する財源にあてますので、サブアリーナ建設費用とすることもできます。また、他に市債等活用して進める方法もあります。

問 パルシーの雨漏り、床剝離、武道場への通路対策、水銀灯対策等の保全計画は出来上がったか。

答 パルシー建設から24年が経過し、設備に劣化が生じています。専門業者に診断をしていただき、9月に中間報告が、1月に最終報告が出来上がります。

問 1月の回答では新年度予算に間に合わないのではないか。

答 緊急性のあるものは、9月の中間報告の内容を見て来年度予算に組み入れたいと考えております。

小中学校の体育館LED化について

問 水銀灯の球切れによる照度不足が生じている。水銀灯は製造打ち切りが決まり、LED化に向け対策しなければならぬが進捗しているのか。

答 照度が規定基準を満たしていない現状もあり、計画的に整備できるように、進めていきます。

本橋 稔 (新成会)
在宅介護について

問 「在宅介護の現状把握について」蓮田市の年度別在宅介護人数の把握はしているか。また、どのような把握の仕方をしていくか。

答 在宅介護の実数を把握する方法はありませんが、要介護認定を受け在宅での介護保険サービスを利用されている人数から推計しますと、平成27年度は約1047人平成28年度は、約1119人平成29年度は1178人になります。

問 在宅介護の数が、年々増えていることが予測されているが、65歳以上の方たちへのアンケート調査等は考えているか。

答 平成31年度、65歳以上のかたを対象に、蓮田市高齢福祉計画2021・第8期(2021年～2023年度)介護保険事業計画策定のためのアンケート調査を要介護認定を受けているかた全員(平成30年7月末現在、要支援1から要介護5までの認定者2789人)と、そのかたを除く65歳以上のかたのうち、2000人を抽出し調査票を送付し、必要な状況を把握できるように検討をしてみたいと考えています。

問 蓮田市独自の施策はあるか。

答 独自の施策としては、在宅医療推進フォーラムや在宅医療・介護出前講座、在宅介護教室を行っております。

問 施設に入所する場合の費用的なサポートはどのようなものがあるか。

答 介護保険制度には、費用負担を軽減する仕組みがあります。一つ目は、「高額介護サービス費」限度額を超えた場合に、超えた分が後から給付されます。二つ目は、「高額医療・高額介護合算制度」介護と医療の自己負担額が限度額を超えたときは、超えた分が払い戻されます。三つ目は、「特定入所者介護サービス費」特別養護老人ホームなどの施設入所にかかる居住費や食費について、所得に応じた自己負担の上限限度額が設けられており、これを超える利用者負担額はありません。

9月定例会傍聴状況

月日	会議	人数
8/28	議会(開)	0
9/3	本委員会(議案質疑)	2
9/4	本委員会(総務)	0
9/5	本委員会(民生文教)	1
9/6	本委員会(建設経済)	1
9/7	本委員会(民生文教)	1
9/10	本委員会(民生文教)	0
9/11	本委員会(民生文教)	0
9/12	本委員会(建設経済)	1
9/13	本委員会(建設経済)	0
9/18	本議会(一般質問)	38
9/19	本議会(一般質問)	10
9/20	本議会(一般質問)	9
9/27	本議会(閉)	1
合	計	63人

**12月定例会は
11月29日(木)
開会の予定です**

※質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものを掲載しております。